

2015国際教養科 NEWS 9月

スウェーデン・中国からの留学生

夏休み明けから2名の留学生が通学しています。2人ともクラスに馴染んできているようです。

8月26日から登校しているスウェーデン留学生は、芸術で書道を選択しました。これから約1年間、周りの生徒たちのサポートを受けながら学んでいく予定です。

9月7日から登校している中国からの留学生は、国際交流基金・日中交流センターが実施する「心連心：中国高校生長期招へい事業」により留学してきました。中国全土から31名の高校生が来日し、北は北海道から南は沖縄までの日本各地の高校で、9月から来年の7月下旬までの約11ヶ月間 留学生として学びます。既に日本語学習歴が3年で、とても意欲的な留学生で、何事にも前向きで、本当に驚きです。日本語を流暢に話し、とても素直で明るく、将来は、通訳になりたいという大きな夢を持っているようです。もうすでに英語合宿、進路研修に参加し、友達もたくさんできたようです。西高の印象を聞いてみると、「みんな優しい。」「勉強の雰囲気がいい。」「行事が多くて、いろんな経験ができる。」と話してくれました。

これからの彼女達の成長が楽しみです。

秋期英語合宿 (9/19~21)

2泊3日で、本校の1年生(国際教養科1年41名、普通科1年9名)の合計50名が、岡谷市のホテル岡谷にて、英語合宿を行いました。この3日間は、日本語厳禁、Only English のルールで、全14時間を超える授業を含め、英語漬けのハードなスケジュールでしたが、積極的に英語を使って頑張っていました。講師は、4月の合宿と同様、日本外国語専門学校の3名の native の先生にお願いし、ご指導いただきました。「4月に比べると着実にレベルアップしている。」と講師の先生方がおっしゃっていました。

この英語合宿を通して、生徒が英語を聞いたり、話したりする力が向上し、また、スピーチコンテストでは、創意工夫があり、ユニークで個性あふれるすばらしいものでした。

〈参加生徒によるアンケート集計結果より〉

1. 参加して良かったか < 良 5 4 3 2 1 悪 >
39名 10名 1名

2. 伸びた力は何か

- ・英語をもっと学びたいという気持ちが大きくなった。
- ・他の人のスピーチや先生の話聞き、英語を理解する力がついた。(4)
- ・相手の話している英語に知らない言葉がでてきても、文の流れから予想することができるようになった。
 - ・長時間英語を聞いて理解する集中力。
- ・発音がキレイになった。(2)
 - ・日常会話の力と話す積極性(8)
- ・質問されてすぐに答える能力。
 - ・積極的に質問できるようになった。
- ・人の前でのスピーチ力が向上したと思う。
 - ・単語・熟語の知識が増えた。(2)

・英語でみんなの前で堂々と自分の夢をかたれるようになった。

3. 全体を通じての感想

- ・前回の合宿よりも内容が充実していてとてもためになったと思った。(2)
- ・前回よりも、英語を話すように心がけた。(3) ・自分の力がとても伸びたと思う。特に積極性。(4)
- ・英語を話していて楽しい、と久しぶりに感じた。
- ・スピーチで夢について考えて自分の将来についても考える良い機会になった。
- ・友達の英語力の高さに圧倒された。「英語力」とは学校のテストで問われる文法の知識だけではなく、肝心なのは「話す力」なのだと感じた。 ・日々の学習にもっと力を入れたいと思った。(3)
- ・自分の弱点をすることができる良い機会となって良かった。とても刺激になった。(7)
- ・英語だけでなく芸術などの様々なジャンルなどを学ぶこともできて良かった。
- ・こんな貴重な体験は、あまりできないので参加してよかったと思う。(普通科2)

